

科目名 Course Name	地域福祉の理論と方法 I Community Development I						
年次	2 年	期別	前期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	佐藤 佳子						
連絡先(質問等)	研究室:栄養棟 3 階か、メールで対応。オフィスアワーは授業担当時間外、会議時間外						
必修/選択	選択(社会福祉士受験資格必修)						
関連 DP	DP2 DP3 DP4						
授業の概要と到達目標	<p>今日の社会問題や社会保障・社会福祉問題を抱える現代社会において地域福祉の推進は重要である。そして社会福祉士の担う役割は大きいといえる。本科目では、地域福祉を理解するために、地域福祉の基本的な考え方・歴史的発展過程・理念と概要を学ぶ。</p> <p>①地域福祉の領域や対象を説明できるようにする。 ②地域福祉の発展過程を通して、地域福祉の重要性を説明できるようにする。 ③地域福祉を構成する人材の活動と連携を概説できるようにする。</p>						
授業の方法	基本はテキストと視聴覚教材、関連資料を使用した講義方式とする。ただし、理解を深めるため、演習、グループワーク、リアル教材の活用を取り入れる。毎回書き込み式の資料を配付するので、ファイリングなど工夫し、復習に利用すること。毎回リアクションペーパーを記入させ、授業の振り返りと知識定着を図る。						
学習成果	L01						
	L02	専門職としての基本を身に着けることができる。地域福祉の基礎的な考え方・理論について、その意義と機能に関する概要を述べるができる。					
	L03	具体的地域推進方法としての自治体、組織、住民の役割・機能を理解する。					
	L04						
課題に対するフィードバック	授業終了後のリアクションペーパーにて理解度等を測定、記載された質問事項には、翌週回答する。						
教科書/参考図書	「地域福祉のはじめかた」藤井博志編/ミネルヴァ書房 「地域福祉の理論と方法」新・社会福祉士養成講座/中央法規						
履修上の留意点やルール等	私語、携帯電話の使用を禁止。授業に関係のないもの(携帯電話、飲食物、化粧品、手帳)はかばんにしまうこと。配布資料・板書のデジタル化禁止。他の受講生に迷惑をかける行為があった場合は、退出を求められることがある。テキスト等、必ず持参すること。事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 180 分とする						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	履修上の留意点を遵守し、遅刻なく準備を整え授業に臨み、必要なことはノートを取り、学んでいること。履修上のルールを守らない場合は、減点対象とする。		30		
レポート/作品	外部講師講演についてレポートを課す。評価 S は講演の概要や何を学んだのかを明確にしていること。提出要領が遵守されていること。		10		
発表					
小テスト					
試験	選択式、穴埋め、記述、事例問題、文章の正誤を判断する問題等により、知識の確認をする。			60	
その他					
合計			40	60	

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス(授業の目標と進め方、成績評価の説明、諸注意等)
	事前・事後学習	事後:シラバスを確認
2	授業内容	地域福祉の基本的な考え方 概念と範囲①
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:テキストの該当部分を読み、資料の見直しをしておく。
3	授業内容	地域福祉の基本的な考え方 概念と範囲②
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:テキストの該当部分を読み、資料の見直しをしておく。まとめのレポート。
4	授業内容	地域福祉の基本的な考え方 理念①
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:テキストの該当部分を読み、資料の見直しをしておく。
5	授業内容	地域福祉の基本的な考え方 理念②
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:テキストの該当部分を読み、資料の見直しをしておく。まとめのレポート。
6	授業内容	地域福祉の基本的な考え方 発展過程
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:テキストの該当部分を読み、資料の見直しをしておく。
7	授業内容	地域福祉の主体と対象 地域福祉の対象
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:テキストの該当部分を読み、資料の見直しをしておく。
8	授業内容	地域福祉の主体と対象 地域福祉の主体
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:テキストの該当部分を読み、資料の見直しをしておく。
9	授業内容	地域福祉の基本的な考え方 住民参加の意義
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:テキストの該当部分を読み、資料の見直しをしておく。
10	授業内容	地域福祉の基本的な考え方 地域福祉におけるアウトリーチ
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:テキストの該当部分を読み、資料の見直しをしておく。
11	授業内容	地域福祉にかかる組織、団体及び専門職や地域住民 行政組織と民間組織
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:テキストの該当部分を読み、資料の見直しをしておく。
12	授業内容	地域福祉にかかる組織、団体及び専門職や地域住民 専門職や地域住民の役割と実際① 外部講師:菅沼裕子氏(栃木市社会福祉協議会 SC 兼 CSW、社会福祉士)、渡辺真希氏(栃木市社会福祉協議会 CS、社会福祉士)
	事前・事後学習	事前:社会福祉協議会の機能、事業について理解しておくこと。 事後:講演後レポート
13	授業内容	地域福祉にかかる組織、団体及び専門職や地域住民 専門職や地域住民の役割と実際②
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:テキストの該当部分を読み、資料の見直しをしておく。
14	授業内容	地域福祉の推進方法 地域における福祉ニーズの把握方法と実際
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:テキストの該当部分を読み、資料の見直しをしておく。
15	授業内容	前期のまとめ

	事前・事後学習	事前:配布資料を過不足のないよう整理して持参する 事後:試験勉強
--	----------------	----------------------------------